

概要

屋上緑化システムは、屋上に複数の支柱を立て、骨組材を組み込み、その上に設置した栽培槽から、「つる性植物」を繁茂・下垂させて屋上全体を覆うものです。また、「つる性植物」の維持管理は、肥料管理と灌水(かんすい)管理の自動化が可能な養液循環式水耕栽培とすることで、「つる性植物」の栽培管理やシステムのメンテナンスが容易となります。

特長

屋上設備に制限されることなく屋上全体の緑化が可能

支柱を立てた上から緑化するので、屋上に設置されている空調設備や、変電設備等の設置されている場所も緑化が可能。

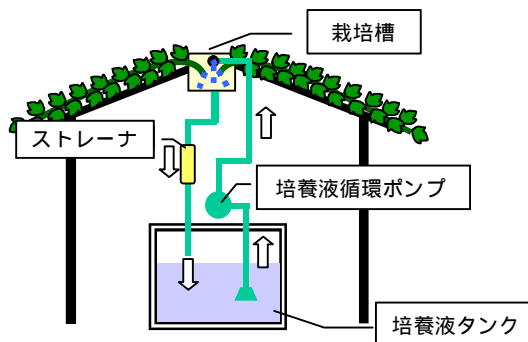
「つる性植物」のヘデラを採用

年間を通して常緑(枯れない)であることや、耐暑性や耐寒性など環境ストレス耐性に優れている、「つる性植物」のヘデラを採用。

栽培方法は養液循環式の水耕栽培

「つる性植物」の管理は、栽培槽から排水された培養液を培養液タンクに回収し、再び給水ポンプで循環して再利用する養液循環式水耕栽培。軽量化が図れ、屋上面の防水処理が不要。

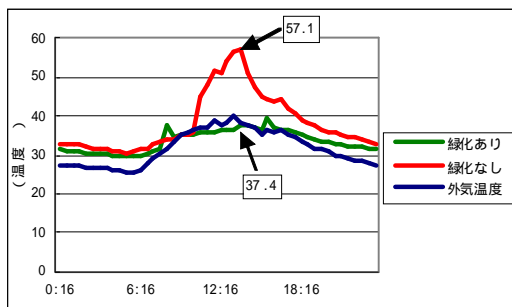
システム概観および効果



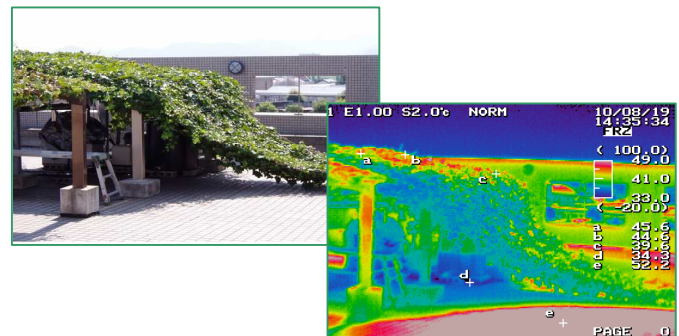
屋上緑化システムの実証試験装置の概要



実証試験装置全景



建物屋上表面の温度の推移



サーモカメラによる表面温度観測

お問い合わせ先 ▶ 中国電力株式会社 エネルギア総合研究所 環境技術担当

〒739-0046 東広島市鏡山3丁目9番1号 TEL / 082-420-0700 FAX / 082-420-0704